

H21 改善計画書

施策番号	局名	課名	職名	氏名	電話(直通)
13120	健康福祉局	こども施設課	課長	粕谷 哲司	769-9227
施策名					
子育て支援の充実					
平成21年度評価					
1次評価	2次評価	3次評価	2次評価意見		
B	B	B	3次評価意見		
			放課後子ども教室の実施に際しては、利用者に何かしらの金銭的負担を求めるべきである。また、重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことも課題であるため、原因を分析し、満足度を向上させるよう、積極的に構成事務事業を見直されたい。		
3次評価意見に対する所管課の見解及び対応（具体的に）					
子育て支援の充実については、児童の放課後対策が主たるものであり、その受け皿の充実が満足度の向上につながるものと考えている。そのための事業の一つとして、放課後子ども教室を、現在モデル実施し、そのあり方や他の児童厚生施設との機能分担等についての課題抽出を行っているところである。さらに、抽出された課題の整理を現在取り組んでいる（仮称）児童厚生施設計画策定の中で行い、家庭に代わる生活の場としての児童クラブ、児童の安全・安心な居場所としての放課後子ども教室の連携を深めるなど、子育て支援に繋がるより効果的な児童の放課後対策を検討する。					
廃止・見直しを検討する事業					
事業名		事業の問題点と見直し等を行う内容			
放課後子ども教室 モデル事業		児童クラブと人材、活動場所等で競合することや、他の児童厚生施設との機能面での重複などの課題を整理するため、放課後子ども教室モデル事業を継続実施し、より効果的な児童の放課後対策を検討する。			
現施策を引き継ぐ予定の新総合計画の施策における成果指標					
現施策を引き継ぐ予定の施策			子育て環境の充実		
成果指標	単位	基準値 [平成20年度]	中間目標 [平成26年度]	最終目標 [平成31年度]	設定理由
子どもを育てやすい環境であると感じている市民の割合	%	47.3	56.0	60.2	子どもを育てていく上での環境が本市に整っているかを見るため
子どもを必要ときに預けられる場（人・場所）がある親の割合	%	68.7	71.9	75.1	子どもを預けられる人や場所が、確保されているかを見るため
新総合計画での目標達成方法					
本課所管部分である“子どもを必要ときに預けられる場”の確保については、児童クラブの質の向上や効果的な活用を図るほか、民間児童クラブの育成・支援、放課後子ども教室との連携を深めることにより、努めていきたい。					

工程表

項目名	2009 年度				2010 年度												2011 年度		項目に係る予算額、人員	
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	予算額 (単位:千円)	人員
放課後子ども教室モデル事業の 期間延長																			+14,160 (590×14 月)	5 人 (非常勤特別職)
検証方法の見直し (2011 年度末まで)																				
放課後子どもプラン検討委員会の 期間延長																			+276 (委員報酬)	15 人 (報酬支払い13人)
(仮称) 児童厚生施設計画の策 定等による期間の延長																				
(仮称) 児童厚生施設計画策定																			+1,400 (平均人件 費 6,990 千 円の1割相 当と仮定)	2 人 (担当職員)
放課後子ども教室モデル事業の 期間延長に伴う計画策定																				

モデル事業の検証

庁内調整

策定予定